

令和7年度 中学生の「税についての作文」
緑納税貯蓄組合連合会 優秀賞

横浜市の住民税

桐蔭学園中等教育学校 第三学年 山下 菜月



れています。私は、これらのことを調べる前と後で、「横浜市の高い住民税」についての印象が大きく変わりました。税の用途を調べる前は、横浜市は他の地域に比べ住民税が高いなんて横浜市に住むと損じゃないか、と思いました。しかし、くわしく調べていくと、他の地域より高い横浜市の住民税は、横浜の緑をまもったり、横浜の良質な水をまもり続けていくために必要な税が加わり、高くなっていたと知り、調べた後は高いのは横浜市のためだと納得しました。普段、横浜市内で生活している時よく、緑が多い市だと思っていた。都心部でたくさんビルがたつような所にも、木が植えてあったりと緑がたくさんあるなと思っていましたが、それは横浜の税のおかげだったのだと知り、視点が大きく変わりました。これからずっと緑ゆたかな横浜市を維持し、さらにつくり出していくことが重要なのだと私は思いました。

私は、この課題をきっかけに税について考え始めたとき、自分の住む横浜市の税について興味を持ちました。横浜市の税について調べていく中で、横浜は全国で最も住民税が高い地域であるとなりました。なぜ横浜市は住民税が他の地域よりも高いのでしょうか。調べたところ横浜市の住民税には、「水源環境保全税」が所得割と均等割にそれぞれ都道府県民税0・025パーセントと三百円が上乗せされており、均等割の市民税には横浜独自の「横浜みどり税」九百円が乗せられていました。この二つの税はどのような用途で使われているのでしょうか。この二つの税はどちらも横浜市の自然環境の保全や景観の向上のための税ですが、それぞれ課税する目的が異なります。水源環境保全税とは、神奈川県内の超過課税であり、水源環境の保全及び再生に資する事業の充実に図るために創設された県税で、県民の暮らしを支える良質な水の将来にわたる安定的な利用を実現するために豊かな水を育む森林や清らかな水源の保全、再生を長期にわたる継続的に進めるために神奈川県が課した税です。また、横浜みどり税は横浜市独自の超過課税であり、市内の樹林地の買取りや、まちなかでの緑の創出など、緑の保全、創出の取組や、横浜市の緑をまもり、つくす、育て「横浜みどりアップ計画」の重要な財源の一部としても活用さ

